

もよおし

区民ギャラリー内 無料

8月8日(木) 13:00~14:30 <映像を通して戦争の事実を知る>

コーラス (たんぼぼ)

「折り鶴」「たんぼぼ」「約束のうた」

DVD上映とギャラリートーク (関連する展示についての解説)

- ・品川区戦後70年特別企画「いま聞いておきたいあの日の記憶」(城南空襲又は武蔵小山商店街満蒙開拓団へ) 30分
- ・「植民地に抗って」24分 (韓国の植民地化とそれへの抵抗)



8月9日(金)13:00~14:30 <戦争を語り継ぐ>

群読：『戦争なんか大きらい—絵描きたちのメッセージ』子どもの本9条の会/作 (みんなで憲法前文を読もう)

証言：「ラケットはつぐれない、もうつぐれない」児童文学作家 柴田奈保美さん (ラケットを作る父の工場は銃身を作らされた)



8月10日(土)13:00~14:30 <侵略の事実から目を背けない>

コカリナ (品川コカリナアンサンブル)

青い空は・竹田の子守歌・エーテルワイス・アリラン・ふるさと

講演：「1945年鎮南浦の冬を越えて：少女と家族の引き揚げ回想録」

児童文学作家 遠藤みえ子さん

(鎮南浦は現在の北朝鮮、平城近くの港町。38度線を越えて引き揚げた)

8月11日(日)13:00~15:00

<戦争の時代を語り継ぐ/日本民話の会・語りの会>

はじめに.....斉藤美智子

1 少国民と呼ばれて.....村田美枝子

2 樺太からの引き上げ.....中村貞子

3 足利の空襲.....岩田和子

4 椿地蔵(宮川ひろ作).....小野寺麗子

<沖縄を語り継ぐ>13:40~

DVD「沖縄から叫ぶ戦争の時代」湯本雅典監督作品 (2019年1月) 60分

沖縄の歌と踊り (照屋三線クラブ)

「しながわ平和のための戦争展」は個人参加の実行委員会が賛同する皆様からの事前のまたは会場での募金をもとに毎年開催しております。会場募金は、運営の大きな支えです。募金をよろしくお願いします。

募金のお買い

しながわ 2019年 第36回

# 平和のための戦争展

繰り返すまい-戦争への道~過去を知り、今を見つめることが未来を作る

このような日は二度と繰り返してはならない



父帰る 小島義一 画

とき 8月8日(木)~11日(日)

10時~19時 (12日は16時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

JR 京浜東北線・東急大井町線・臨海線 大井町下車 徒歩3分

主催：しながわ平和のための戦争展実行委員会

◎ 連絡先 080-5693-8261(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)



### 第36回 しがわ平和のための戦争展にあたって

毎年、戦争への道を繰り返さないという願いを込めて「平和のための戦争展」をやってきました。「もう、戦前じゃないの?」と思われることの既成事実化、言論・教育への締め付けを見過ごしてはならないという思いで、企画しました。中東やアフリカの少年兵や、戦禍で親兄弟を失ったり、飢えたり、学校に行けない子どもたちは、75年前の日本です。日本の侵略の事実を忘れることはできない。「過去を知り、今を見つめることが未来を作る」というテーマにそんな思いを込め開催します。2019年8月 しがわ平和のための戦争展実行委員会

### ○日本の侵略—韓国・朝鮮で—東北アジアの平和を築くために

韓国大法院の「徴用工問題」の判決について、政府の対応が大きな問題となっています。過去における朝鮮半島に対する日本の「植民地支配」の事実をしっかり目をつけその解決について考えていくことが大切です。“日本は朝鮮に何をしてきたのか”また、これからについても考えていきたいと思えます。

### ○地域から戦争を考える

#### 品川区は軍需工場だらけだった。13歳以上は学徒勤労動員へ。

昭和19年になると人々の暮らしは戦争一色に染められていきました。兵隊に取られた労働力を補うため、強制的に働かせる「徴用令」が出され、工場は軍需優先。品川区にあった工場はほとんどが軍需工場へ。兵隊にとられた男性の労働力を補うため、学校の授業をなくして軍需工場へ働きに行くようになり、国民学校6年間以上は学校での勉強すらなくなっていました。

#### 1945年5月25日の空襲で旧荏原地区は壊滅状態

1945年5月24日城南大空襲では、死者こそ多くなかったものの旧荏原地区はほとんど丸焼けになりました。3月10日の東京下町空襲の3倍にも上る爆弾・焼夷弾が落とされたのです。当時少年だった小島義一さんが、二度とこのようなことが起きないように、体験を絵に描き私たちに託したものから一部展示します。

#### 戸越にあった戦時託児所も疎開

労働力不足を補うため、多くの女性も働かざるを得ず、「戦時託児所」があちこちでできました。空襲が激しくなると、戸越にあった託児所も疎開しました。今年、「あの日のオルガン」として映画化され品川でも上映予定です。展示しているのは1987年ひまわり保育園の保育士が作成した紙芝居です。

#### 品川にあった米軍兵士のための慰安所第1号

敗戦から数日後日本政府は進駐してくる米軍兵士のための慰安所(RAA)を全国各地につくりました。その第1号が京浜急行大森海岸近くの料亭「小町園」におかれたのです。

### 品川の戦争遺跡

品川区には戦争の足跡がまだまだたくさん残っています。親子で歩いてみませんか。

### ○実物が語る戦争

絵本や雑誌、遊び道具にも戦争が入り込んでいきました。戦争に行く兵隊さんへの手紙や慰問袋、千人針も日常となりました。金属は兵器に使うため供出させられ、服のボタンや手りゅう弾、地雷までも陶器で作られたものが使われるようになりました。実物から戦争のことを語り継ぐきっかけにしてほしいと思っています。展示品は個人から提供されたものです。

### ○憲法9条を生かして平和を作る

2015年に成立した「安保法制」について、翌年から「安保法制違憲訴訟」が全国に広がっています。憲法学者、最高裁長官、元内閣法制局長官等、様々な職業と立場にある人々が、単に「戦争に巻き込まれる」という不安感だけでなく現実にはどのような権利侵害があるか明らかにしています。「憲法改正」のための「改憲4項目条文イメージ」が示されていますが・・・

### ○日米安保条約と沖縄

#### 沖縄の基地は今?

奄美、宮古、石垣、与那国…南西諸島で進む自衛隊基地の配備。もはや今は戦前なのか? 基地配備の実態を明らかにする!

#### 日米地位協定を考える

基地外の民間地で起きた墜落事故でも、米軍機の調査には日本政府が一切関与できず、主権を侵害している状況。在日米軍のこうした駐留条件を定めているのが日米地位協定です。日本と同じく米軍が大規模に駐留するドイツやイタリアと比較して考えます。

### ○核廃絶への道

アメリカの水爆実験により、日本のマグロ漁船が被曝した「第五福竜丸事件」をきっかけに「原水爆禁止運動」が広がり、「原水爆禁止世界大会」へとつながりました。核廃絶の声は、世界に広がり、2年前には国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。逆風もある中で、若者が、学者が、世界の人々が核をなくしたいと学習し、活動は広がっています。核廃絶へ続く道を紹介します。

### ○「戦争する国にさせないために」 私たちができること

「戦争する国にさせないために」地域で続けられている活動を紹介し、あなたの声を掲示するコーナーもあります。平和へのあなたの思いを文章で交流しましょう。

### ○平和の心を書て

児童憲章・沖縄の少女の詩・自作の俳句・戦争の非条理・命の大切さを書きました。私たち書友の心のさけびです。



# しながわ平和のための戦争展

繰り返すまい 戦争への道～過去を知り、今をみつめることが未来をつくる～

日時: **8月8日(木) 9日(金) 10日(土) 11日(日)**

時間: 10:00～19:00 (11日は16:00まで)

会場: **品川区民ギャラリー (イトーヨーカドー大井町店8階)**

東急大井町線・JR京浜東北線・りんかい線大井町駅下車4分

**入場無料**

## 展示内容

子どもたちに戦争の事実を伝えましょう。お子さん、お孫さんと一緒にどうぞ

### 日本の侵略—韓国・朝鮮で

東北アジアの平和を築くために

### 地域から戦争を考える

品川区は軍需工場だらけ・12歳以上は勤労動員

### 憲法9条を生かして平和を作る

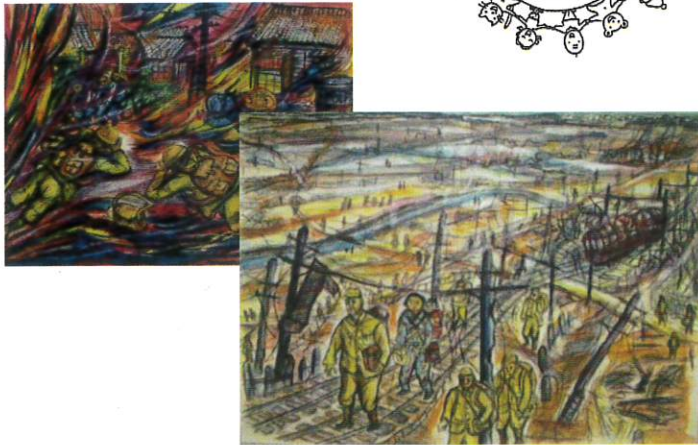
### 核廃絶への道

### 日米安保条約と沖縄

戦争する国にさせないために私たちにできること

### 平和の心を書で

### 実物が語る戦争



## 【催し予定】

**8月8日(木) 13:00～14:30**

＜映像を通して戦争の事実を知る＞

コーラス(たんぼぼ)

DVD上映とギャラリートーク(関連する展示についての解説)

・品川区戦後70年特別企画「いま聞いておきたいあの日の記憶」(城南空襲又は武蔵小山商店街満蒙开拓団へ)30分

・「植民地に抗って」24分

(韓国の植民地化とそれへの抵抗)

・ほか

**8月9日(金) 13:00～14:30**

＜戦争を語り継ぐ＞

群読:『戦争なんか大きらい—絵描きたちのメッセー』

子どもの本9条の会/作(みんなで憲法前文を読もう)

証言:「ラケットはつukれない、もうつukれない」

児童文学作家 柴田奈保美さん(ラケットを作る父の工場は銃身を作らされた)

ブックトーク:子どもと一緒に戦争と平和の本を読もう

**8月10日(土) 13:00～14:30**

＜侵略の事実から目を背けない＞

コカリナ (品川コカリナアンサンブル)

講演:「1945年鎮南浦の冬を越えて:少女と家族の引き揚げ回想録」児童文学作家 遠藤みえ子さん

(鎮南浦は現在の北朝鮮、平城近くの港町から38度線を越えて引き揚げた)

**8月11日(日) 13:00～15:00**

＜戦争の時代を語り継ぐ＞

民話語り(日本戦争民話の会)

＜沖縄を語り継ぐ＞

DVD「沖縄から叫ぶ戦争の時代」湯本雅典監督作品(2019年1月制作)(60分)

沖縄の歌と踊り(照屋三線クラブ)

主催: しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先: 扇谷道子 (TEL/FAX 03-3727-8382)

西條明子 (TEL080-5693-8261)

FAX03-3775-7883)